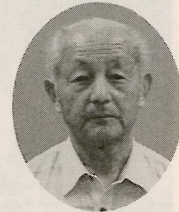


那加二東部 福祉だより

各務原市社会福祉協議会那加二東部支部
平成11年度年間活動計画表

年月	活動計画	年月	活動計画
11年4月	●自治会連合会長・社協支部長・民生児童委員総務合同会議に出席(15日) ●支部理事会(27日)	10月	●支部理事会(1日) ●東部連合会市民運動会共催(3日) ●岐阜県社会福祉大会に参加(26日) ●ひとり暮らし老人・高齢者を囲む会
5月	●支部役員総会(6日)	11月	●市民福祉大会に参加(18日)
6月	●支部長・福祉推進員合同会議に出席(1日)	12月	●歳末地域福祉座談会
7月	●支部だより編集委員会(14日) ●自治会連合会長・社協支部長合同会議に出席(23日) ●社会福祉協議会会員募集趣旨説明会 ●地域介護講習会(26日)	12年1月	
8月	●親子ふれあい映画会(9日) ●社会福祉協議会会員募集推進(1~31日) ●支部だより第12号発行(15日)	2月	●支部だより編集委員会
9月	●市福祉フェスティバルに参加(5日)・自治会連合会長・社協支部長合同会議に出席(下旬) ●高齢者慰問	3月	●支部会計監査 ●支部だより編集委員会 ●支部理事会 ●支部役員総会 ●支部だより第13号発行(31日)

第12号
平成11年8月15日発行
編集・発行
各務原市社会福祉協議会
那加二東部支部



各務原市社会福祉協議会
那加二東部支部長
山田 一夫

「心の出会」

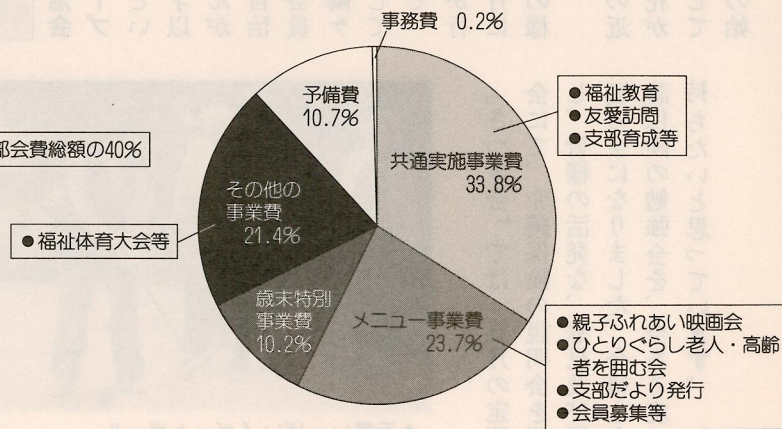
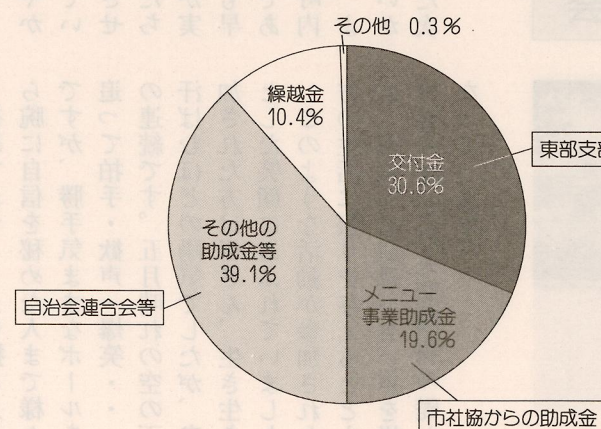
ご縁があつて六月のなかば十五名程の団体が千葉県は天津小湊町の日蓮上人誕生寺に参拝しました。
境内で、巣から落ち右肩を骨折し、親からエサももらえず仮死状態になっていた、子ガラスを助けるはめになりました。
(ガラスは巣から落ちると親は自分の身が危険だから、地上におりてきてまではエサをあたえない)

旅館やバスの中でパンと牛乳をあたえたか
いがあるか、各務原に着いた頃には、食欲も旺盛で、すっかり元気になり一同ひと安心
でした。
誕生寺に参拝していなければ・・・
少し時間がずれていなければ・・・
カラスとの出会はなかったことでしょう。
いま問われています。福祉の出会いは、一年前、一年後の出会いはなく、昨日の出会
い。今日の出会いは、明日の出会いは、思
いや、今の出会いを大切にしたいと私は思
えてなりません。
それは「心の出会」であり
「命の出会」だと思ひます。
(日蓮と名付けた子ガラスは今も元気で
す。)

平成11年度 各務原市社会福祉協議会 那加二東部支部 収入・支出予算

〈収入〉 予算額 1,175,238円

〈支出〉 予算額 1,175,238円



介護保険の 素朴な疑問

2000年
4月スタート

掛け捨て?

介護サービスを全く利用しな
ければ、「掛け捨て」になりま
す。

介護は、医療ほどのリスクに
さらされる度合いが低いので、
掛け捨て率は高くなります。

そのため、「なぜ、必要もない自
分が強制的に加入せなければい
けないのか?」と、理解が得ら
れにくいこともあります。です
が、年齢が上がれば要介護状態
になる確率は急速に高くなって
きますし、子どもの立場として、
老親を介護する可能性がかなり
高くなるわけです。介護は自分
だけの問題ではなく、介護者と
なる人たちの問題でもあるわけ
ですから、介護に加入する確率は
倍増することになります。

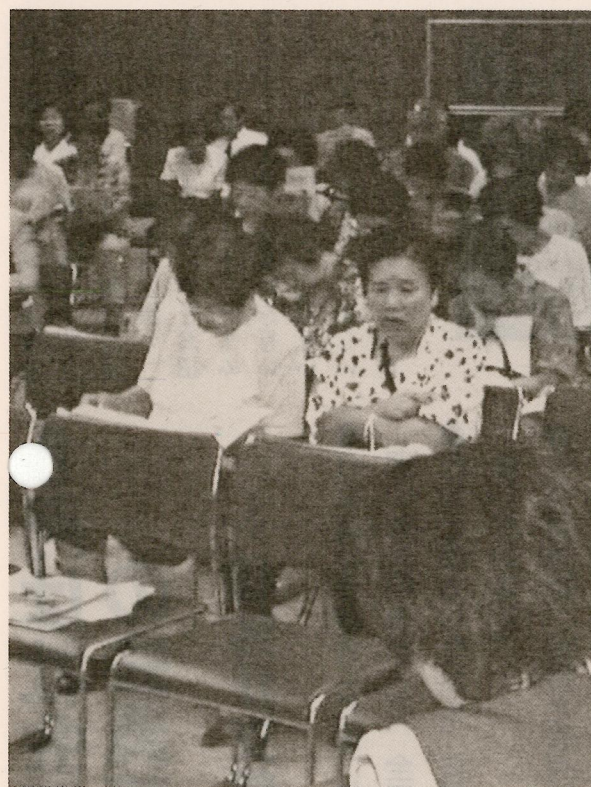


終身保険?

基本的には終身保険です。誰
にとっても、介護が必要となる
可能性は死ぬまであるのです。
また、介護サービスを受けるよ
うになっても、保険料は払い続
けることとなります()の仕組
みです。

また、介護サービスが利用可
能だとしても、『家族でなんとか
介護していく』と考えて、保険
に入ることを拒否する方もいる
かも知れません。でも、介護職
の方なら、家族だけで介護を支
えていくことははや困難であ
り、社会全体で支えていく必要
があることは説明できるでしょ
う。

みは医療保険も同じです。
健康な人、日々健康に努めて
いる人にしてみれば、終身保険
であることは納得がいけないか
もしれません。しかし平均寿命
が伸び、後期高齢人口も今後急
速に伸びていきます。この後期
においては、ちょっとした怪我
や病気が要介護状態になる可
能性が増します。そして、家庭
で介護を担う人がいる場合、多
くは介護者自身も高齢者である
可能性が高いのです。いわゆる
「老老介護」がこれからは多く
なります。介護の期間は、平均
でも3年以上と長いだけに、家
族介護だけでやっていくには限
界があります。また、介護をす
ることで何らかの憎しみを感じ
たことがある、という人は80%
近くにのぼります。さらに、介



7月13日介護講習会に90人参加しました

護がもとで家族
が崩壊したとい
う例も聞かれま
す。それだけに
社会全体で支え
あう制度として
介護保険ができ
たわけです。
月々の保険料と
介護が必要に
なったときの支
出を比べてみれ
ば、国民全体で
支えあうことの
必要性が理解さ
れると思ひます。
なお、介護保
険は市町村が保
険者となり、地
域住民はそこに
加入するのです

那加二東部支部 (H11 4.1)	人口	6,195人
	65歳以上	1,043人
	高齢化率	16.8%
	(各務原市)	13.2%

支部社会福祉協議会 (支部社協)の活動に ついて

○自治会連合会を単位として、
十七の支部が組織されていま
す。
○福祉活動を推進し、福祉の
理解と関心を深めてもらい、
より暮らしやすい街づくりを
目的にしています。
○児童を対象にした「親子ふ
れあい映画会」、高齢者を招待
しての食事会、介護の仕方を
学ぶ「介護講習会」、地域の福
祉活動を知っていただくため
の広報紙の発行等、様々な活
動を行っています。
○活動にはどなたでもご参加
いただけます。

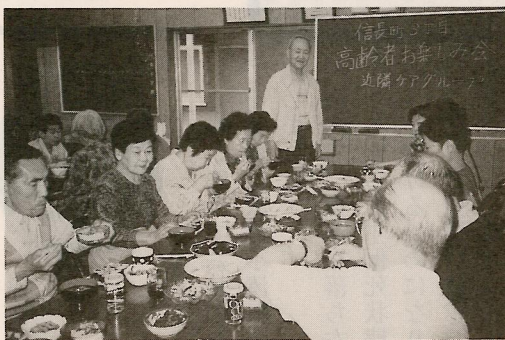
から、転居するとその町の被保
険者資格を喪失します(すでに
要介護認定が出ている場合は、
転居先の市町村に書類を提出す
れば資格を得ることができま
す)。また、64歳以下の第2号被
保険者は、医療保険と合わせて
保険料を徴収することになって
いますから、医療保険加入者で
なくなると資格を喪失しますの
で、その場合はすみやかに市町
村窓口で相談しましょう。

わたしの住む街から

ケアグループと共に歩いた十一年

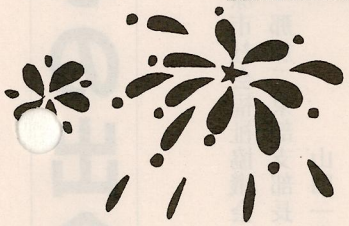
信長町三丁目自治会
近隣ケア・グループ

平成元年に発足した近隣ケアも今年で十一年目を迎えました。当初は、何をどのように、高齢者に接したら良いか全く分からず、迷いました。グループで何回も話し合い検討した結果、高齢者の方に集会所に寄って頂く事にしました。



▲楽しい食事会

中村民生委員さんを始め市の福祉課長さん、自治会長さんにもご参加して頂き、さわやかな食事会を開き、小物作り、カラオケ等お年寄りの目線に合せて判断しました。欠席の方には手作り弁当をとどけたりしています。朝の一声運動から始まり、道で会ったお年寄りにも声をかけられ



れるようになりまし。今日此の頃は「近隣ケアの日だね」と朝から楽しみにしてくださっており。又、夏やすみには子供さんを交えてふれあい広場を設けて輪投げをしたり、紙ヒコキを作るとばし合いをしたりおにぎりをたべながら一日をたのしく送ります。十一年間の年月を重ね、近隣ケア・グループも共々に不足のない年齢になりました。

施設への訪問見学
東新町近隣ケア・グループ
私たちのグループは、中村民生委員と緊密な連絡をとりながら、そして、自治会長の協力により、ケア活動に取り組んでおります。



▲福祉の里へ訪問見学

活動のあり方としましては、独居高齢者の方などを静かに見守り続けること、毎年恒例として手作りの「おはぎ」などを高齢者宅へ訪問してお届けしたりしており、また、活動の環境として施設への訪問見学などを行っておりますが、今年度は五月に「福祉の里」を訪問見学させていただきました。

若であふれるさつき会
住吉町自治会
近隣ケア・グループ
住吉町には「さつき会」という集まりがあります。六十才以上でなくては入会できませんが「決して老人会ではない」(自治会長談)そうです。現在の会員は三十六名。うち八名は近隣ケアの方で、活動をサポートしています。月に一度の定例会で、誕生会をはじめ様々な活動が行われています。ここでは五月に行われたゲートボール大会の様子を紹介しましょう。



▲元気いっぱい！ゲートボール

集会所での茶話会で各人の近況や思いで話にひとしきり花が咲いた後、場所を公園に移していよいよゲートボール大会の始まりです。

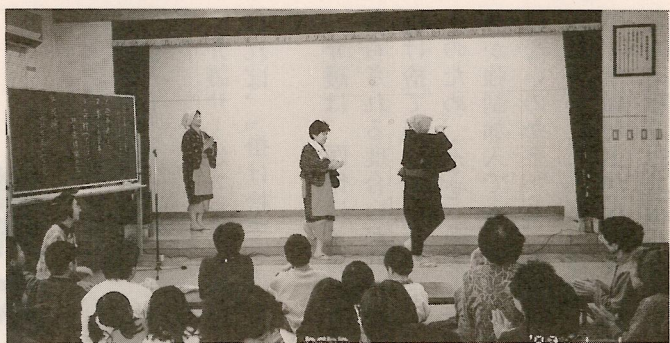
「さつき会」では、五月の定例会にて、介護保険の説明会を催し、皆様の活発な意見及び質疑の会になりました。今後も介護保険の勉強会を、会ある度に持ちたいと思っています。

近隣ケアの役割

織田町

近隣ケア・グループ

数年前迄はケアと云う言葉も福祉にも、関心のない生活を送っていました。いったい何をやるのかも知らない状態でした。現在織田町のケアは六名で町内の独居の方々には、あまり手出しはせず、役員会の時変わりのないか確認するにとどめています。



▲上手なおどりを披露しました。

社協の介護講習会・東部体育大会町内の行事に積極的に参加し、お手伝いをしています。昨年十一月の敬老のつどいにはお年寄りと小学生を招待しまし

た。「五目ごはん、みい、赤はん、煮物」で接待し他には、セミプロのマジックショーと那加二民踊有志の踊りで世代を越えて、喜んでいただき、楽しいひとときでした。

又、ケアも仕事を分担して行い助け合いの大切さを知り、皆様に「ご苦労様。おしかったよ」と声をかけていただき、疲れたけれど満足感の味わえた貴重な一日でした。年度末にはケアハウスを訪問しましたが、何もかも行届いた生活はほんとうに幸せなのか考えさせられました。これからますます高齢化社会になっていきます。お互いに杖になり合える町づくりに、少しでもお手伝い出来るよう、心がけたいと思っています。

近隣ケア・グループ 会合に参加して

信長町

近隣ケア・グループ

六月十三日、信長町近隣ケア・グループ六名、新しく自治会で選任された福祉委員と民生委員の八名で、顔合せを兼ねて今年度の行事予定の打ち合せ会を行いました。私たちグループは、初めての方が多く、何をしても良いか全くわかりません。そこで民生委員から近隣ケアの役



▲会合中のケア・グループ

割と心得の説明、地域の高齢者の名前や人数、様子等をお聞きしました。又、毎年、恒例行事として、秋に「高齢者の集い」を催し、六五才以上の方をお招きして、講演、ビデオ、ゲーム等を楽しんだ後、昼食会を行います。今年も行事としてお互いにふれあい、語り合い、楽しいひとときを過ぎて頂けるよう計画しました。

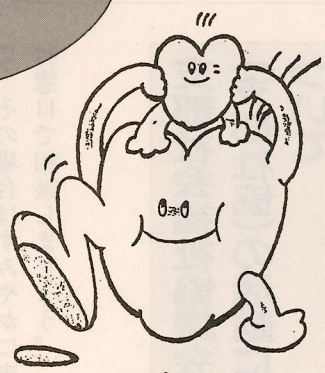
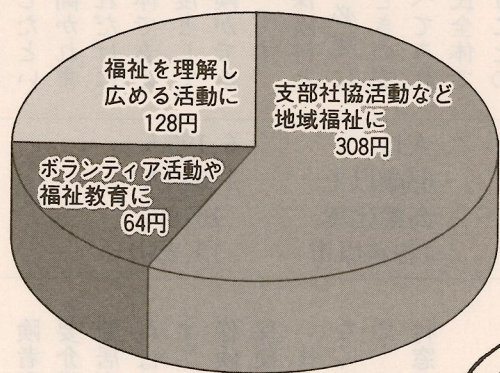
これから、ますます高齢化社会が進む中、近隣ケア・グループの果たす役割は大きなものがあります。やさしき、おもいやり、ぬくもりを心掛け、皆さんが安心して、暮してゆけるよう、ふれあいを通じ、日常生活を見守って行けたらと話し合いました。

8月は社会福祉協議会の の会員募集月間です

40%が支部活動の財源に

- 社会福祉協議会(社協)は法に基づいた公共性の高い民間の社会福祉法人で、全国の市町村にあります。
- 行政と協力しながら、住民が主体となって福祉活動を推進しています。
- 主な財源は、会費と寄付によって成り立っています。
- 会費の40%が、地域の福祉活動の財源になります。

一般会費500円の使われ方



サポート君